



【公民連携】 「未来を変える環境教室」報告レポート

2024年8月20日・21日



×

RICOH

開催日時:①8月20日㊟13:00～15:00 ②8月21日㊟10:00～12:00

開催場所:リコージャパン株式会社 宮崎支社

宮崎市内の小学4年生から小学6年生を対象に「未来を変える環境教室」が開催されました。

8月8日に起きた日向灘地震を受け、環境教室スタート前の「万が一地震が起きたら頭を守って机の下にもぐり、揺れがおさまったらヘルメットをつけて安全な2階に誘導するので指示に従ってください」という注意説明では、参加した児童、付き添いの保護者も真剣な表情でした。その後、座学の「環境教室」を全員で受講し、3班に分かれて「SDGsを探そう会社たんけん」「きれいな海に魚をふやそう」「正しいゴミの分別をしよう」を交代で体験しました。

	申込人数	参加人数
①8月20日	16名	15名
②8月21日	22名	15名



環境問題について学ぶ「環境教室」

環境教室では「空気の中にあるもの」では6年生の理科で習う二酸化炭素と酸素の役割をイラストを使って紹介。4年生、5年生も二酸化炭素と酸素という難しい言葉を覚えました。文明が発達したことで二酸化炭素が増え「地球温暖化」につながっていること、さらに文化的な生活と地球環境を守るためのバランスをとるために二酸化炭素を減らす工夫、自然を大切にするなどの説明を受け、普段の生活に置き換えて、思いを巡らす様子もみられました。またプラスチック問題では海にたくさんのプラスチックが流入しているせいで命の危機にある生き物がいること、その反面プラスチックは生活にはかかせないものであること、へらす工夫、正しい分別が必要であることを学びました。



SDGsをさがそう～会社たんけん～

リコーグループは48年前から環境に取り組んでいます。社内には、環境に配慮した工夫やSDGsの取り組みがあります。たんけんガイドの案内でオフィスを見学します。SDGsを5個みつけると合格！SDGsの取り組みを探す姿は真剣そのものです。メモを片手にみつけたSDGsのゴールを次々に記入。中には10個以上みつけた参加者もありました。大人よりも子供達のほうがSDGsをよく知っています。



きれいな海に魚をふやそう[体験]

リコーの紙アプリを使い、描いた絵がプラスチックのないきれいな海を泳ぎます。

想像力豊かで個性的な魚や生き物を描く子供達。

完成した絵は、スキャナを使って大型モニターの海に泡から生まれて泳ぎだします。

瞬く間に、スイスイと自分の描いた魚が泳ぐ姿に歓声があがりました。わが子の描いた魚が泳ぐ姿を動画におさめる保護者の姿も。人気のコーナーでした。



正しいゴミの分別をしよう[最新技術、樹脂判別ハンディセンサー体験]

リコーの最新技術を使った樹脂判別ハンディセンサーは、種類の多いプラスチックをPP、PEなどの細かい種類に判別します。

プラスチックを再利用するためには、同じ種類で分別することが必要でありペットボトルは、種類が統一されているので日本はペットボトルの再生率がトップクラスであることを学びました。体験では実際に、ペットボトルのフタ、ラベル、ペットボトルにセンサーをあて判別したものをワークシートに記入。まだまだこれからさらに開発がすすみ、将来ごみ箱に分別するセンサーがついたら便利だね、と参加者で未来を想像しました。センサー体験後は、宮崎市のごみの分別も学んでいます。子どもたちの興味は、やはり最新技術を使った樹脂判別ハンディセンサー。体験が終わった後も、テーブルや椅子、身の回りのさまざまなものにセンサーをあて、「ここにもプラスチックがあった!」と興味津々でした。



最後に

石灰石を主原料とした環境に配慮したLIMEXという用紙でできた「修了証」を1人ずつ手渡ししました。

21日はNHKさんの取材もあったことから参加した子供たちで記念撮影。参加した子供たち、満足そうな笑顔で会場をあとにしました。



お礼

地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量削減や海のプラスチック問題は、一人だけのチカラで大きく改善されるものではありません。一人一人が、正しい分別をして、廃プラスチックを出さない工夫、環境に配慮されたものを選択して購入すること、そして二酸化炭素を吸収してくれる自然を守っていくこと、増やしていくことが大切です。

「未来を変える環境教室」に参加した子供たちは、自分から、または友達に誘われて、もしくは親御さんのすすめで参加されました。

「未来を変える環境教室」をきっかけに踏み出した一歩は、必ず地球環境の未来をいい方向に変えていくのではと感じています。

リコーグループの会長の好きな言葉に「私たちは祖先からこの地球を受け継いだのではない、未来の子どもたちから預かっているのだ」があります。未来の子どもたちから預かった地球を私たちリコージャパンの社員も、最新の技術や環境の取り組みで地球温暖化を食い止めなければとあらためて感じています。「未来を変える環境教室」企画に携わることができた私たちリコージャパンの社員も、準備の段階からワクワク楽しむことができ、参加した子供たちのイキイキとした表情に元気をもらいました。

参加した子供たち、参加にご理解・ご協力いただいた保護者の皆様、企画された宮崎市のご担当者様、メディア関係の皆様、ありがとうございました。



【リコージャパン株式会社 宮崎支社】 ZEB認証事業所の紹介

RICOH

「未来を変える環境教室」が開催されたリコージャパン宮崎支社の宮崎事業所はZEB認証事業所です。ZEBとは「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル」の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物(事業所)で消費する年間の一次エネルギー（空調・照明・換気・給湯・昇降機）収支をゼロにすることを目指した建物のことです。ZEBには、4つの種類がありリコージャパンでは社屋新設時に「ZEB Ready」以上として脱炭素の実践状況を通して、通常は法人向けに社内実践の紹介やオフィス見学を行っています。オフィス見学では、自動コントロールされた空調や照明、外光を取り込む工夫、太陽光発電等ご覧いただくことができます。



ZEB認証取得でゼロカーボン社会に取り組む“ひなたオフィス”
リコーの最新テクノロジーを活用した省エネ・創エネ。
宮崎の陽射しが降り注ぐ、明るいオフィスを実践しています。

